

きたうら

村の人口と世帯

昭和50年4月末日住民基本台帳調

		前月比
世帯数	2,380	増 19
人口	11,124	増 48
男	5,494	増 53
女	5,630	減 5

昭和50年4月30日発行 第173号 ◆発行と編集 茨城県行方郡北浦村役場 ☎ 02915-2111



元気に123名が入園

北浦幼稚園を開園

4月14日、桜の花の咲く中で、北浦幼稚園の入園式が行なわれました。

三育幼稚園の閉園に伴い、その跡地に、村内一円として、開園されたものです。これにより、小貫幼稚園は廃止されました。

今度入園したのは、123名で、みんなとても元気。もう、現代っ子らしいワンパクぶりを発揮しています。50年度の施政方針でも明らかにしているように、村政の重点施策の第一にこの幼児教育をとりあげ、充実した教育をめざして進めてゆきます。

今年の新入生

幼稚園	123人
要小	31人
津澄小	62人
三和小	6人
新城小	24人
小貫小	17人
中学校	154人

補助金は前年度通り、消費的経費を抑え事業の推進

9億7百70万円の村づくり

幼稚園の開園・養護老人ホーム・常設消防署の建設
農業はほ場整備に力点を・福祉の中心は老人と児童へ

一般会計

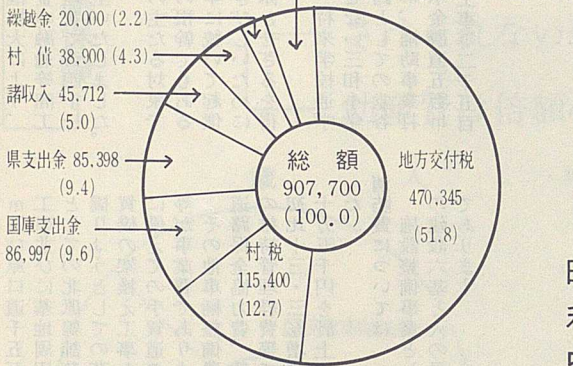
続いて一般会計予算について説明いたします。
歳入については、村税については、地方税の改正が予定され、個人住民税の課税最低限が引き上げられるが、給与所得者の伸びと企業法人の需要抑制による不振から法人税割の伸びがやや、新築家屋の増加による固定資産の伸び、特別土地保有税保有分に対する税収等一億一千五百四十万円を見込み、前年当初比三十六・五％の伸びとなりますが、四十九年決算見通しからは伸びがやや二・二％の減になります。
地方譲与税については、産業不振から大型車による陸送等が減少したために、廃車などにより国の自動車重量税が三十六億円程度減収される見通しですが、前年当初比八十七・五％増の一千五百万円を見込みました。
自動車取得税交付金については、不況下における経済から車輻更新はあまり期待されない見通しなので、これが交付金については期待薄であり、前年当初比六十六・七％増の一千五百万円を計上いたしました。したが、四十九年度決算見込みからすればほとんど伸びがないと思われる。
地方交付税については、国の伸び率は前年当初比三十三・三％と大幅に増額されており、補正後の予算から見れば五・八％増にとどまっております。
交付税の算定基礎となる基

準財政需要額の算定方法については、事業費補正について、港湾費及び河川費（ダム）に係る算入率が若干引上げられる以外は原則として四十九年度と同一程度の予定とすることなので、あまり期待できない見通しで、前年当初比十八・四％増の四億七千三百四十五千円を計上いたしました。
交通安全対策特別交付金については、ほぼ前年実績をより三十五万円を見込みました。
使用料及び手数料については、教職員住宅、北浦幼稚園入園料、保育料等使用料と、戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明等手数料で前年当初比二十三・一％減の二百五十二万五千円を見込みました。減については、母子健康センター助産事業の閉鎖によるものであります。
国庫支出金については、各種補助事業を検討し、補助率、補助額等適切な把握につとめ、防音改築事業については、経費配分計画書に基づいて計上し、その他主な農林水産業補助については、関係行政庁の指示に従い計上し、前年当初比十六・五％減の一億七千二百三十九万五千円を見込みました。この減額は、新築小学校防音改築事業が完成したことによります。
財産収入については、財政調整基金、庁舎建設基金等利子の積立で二百七十七千円を見込みました。
寄附金については、

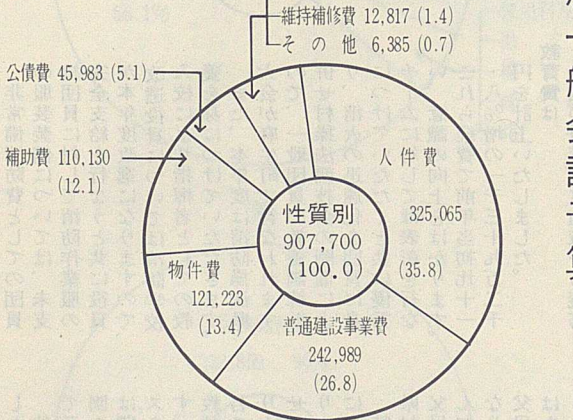
歳入の道を構するため一千円を計上いたしました。
繰入金については、本年度計画事業を推進するため財政調整基金を繰入れ一千万円を計上いたしました。
繰越金については、昨年まで補正財源として留保し、調整財源として当初はあまり見込みませんでした。が、採択補助事業等推進のため二千円を計上いたしました。
諸収入については、衛生納付金、給食費、国民年金印紙売捌料と農林振興のための興農資金貸付元利収入、一般歳計現金預金利子等であります。特に預金利子については前年当初比百六十六・六％増と大幅に見込み、総じて前年当初比二・八％増の四千五百七十一万二千円を見込みました。
村債については、農道本宿、繁昌、行戸、平須賀線の農林水産業債と土木債としての荷下橋、要小中学校防音改築事業の教育債等で三千八百九十万円を見込みました。

議会費は、議会運営のための経費で三千四百三十三万六千円で、前年当初比二十八・六％増であります。
総務費は、管理運営的経費が主なものでありまして、文書の集中管理、発送、広報、週報等発行による村行事の住民に対する周知、徴税事務経費、住民基本権擁護のための戸籍事務、本年度執行される県知事及び参議院議員補欠選挙、村長及び村議会議員補欠選挙と明春選挙、各種統計調査費用と財政執行、状況検査のための監査費、交通安全、防犯対策費、広域市町村圏事業として取り上げた養護老人ホーム、常設消防署の建設並びに運営負担等、前年当初比六十七・七％増の一億八千八百二十六万七千円を計上いたしました。
特に大幅な経費の増加は、広域消防の負担によるものであります。
民生費は、社会福祉の中心をなすもので、老人医療無料化推進事業と児童福祉のための児童手当経費が予算に対する大きな比率を占めております。これらは、国、県、村三者による負担で行なわれ、福祉が充実されるとこれに伴い一般財源の負担が余儀なくされ、財政運営に支障をきたすこととなります。
その他国民年金事務、社会福祉協議会育成助長による福

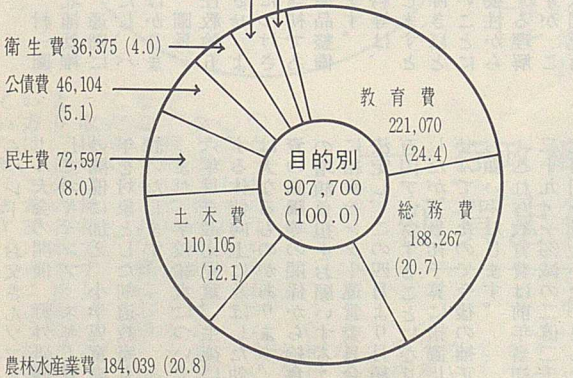
・（ ）内は％
・単位千円
財産収入 2,072 (0.2)
交通安全対策特別交付金 350
寄附金 1
繰越金 20,000 (2.2)
村債 38,900 (4.3)
諸収入 45,712 (5.0)
県支出金 85,398 (9.4)
国庫支出金 86,997 (9.6)



歳出
扶助費 43,103 (4.7)
維持補修費 12,817 (1.4)
その他 6,385 (0.7)
公債費 45,983 (5.1)
補助費 110,130 (12.1)
物件費 121,223 (13.4)
普通建設事業費 242,989 (26.8)



歳入の道
消防費 10,392 (1.1)
予備費 2,000 (0.2)
商工費 1,414 (0.2)
災害復旧費 1,000 (0.1)
諸支出金 1
議会費 34,336 (3.8)
衛生費 36,375 (4.0)
公債費 46,104 (5.1)
民生費 72,597 (8.0)



社事業の推進、戦没者慰霊祭、老人クラブの育成、敬老会の開催、独居老人、寝たきり老人訪問指導のための家庭奉仕員、青少年非行化防止のための青少年相談員、弱者救済事業推進のための民生相談員等の活動費用で、前年当初比三十一・八％増の七千二百五十九万七千円を計上いたしました。

衛生費は、住民健康管理のための事業で、車輛等常用化時代における交通事故、あるいはその他疾病による人命救助のための献血推進事業、法定伝染病対策予防事業、成人病対策として、

ての循環器、ガン検診の実施、環境衛生事業としてのゴミ捨場の整備、広域行政事業としてのゴミ収集処理、保健指導事業としての乳児、妊婦検診、育児指導のための母親、母子保健教室の開催等で、前年当初比十一・一％増の三千六百三十七万五千円でありました。本年度から医師の協力が得られないため、助産事業については閉鎖のやむなきに至りました。

農林水産業費は、本村産業から最も就業率の高い農林業で、当然振興には力を入れなければなりません。農業経営上の農地の移動適

正化、農地等利用紛争に伴う処理事業等行なう農業委員会運営費、時代に合った農作業労賃の目安の設定等を就農近代化事業、特産物生産助長による産地化対策育成事業、農業後継者育成のための研修助成及び専門的農業経営推進奨励のための資金融通に対する利子補助。
黄萎病、イモチ、ウンカの共同防除のための農薬空中散布の実施、農振地域における整備計画にもとづいて高効率集団組織育成事業と併せ、畑作高度営農団地育成事業施行の行戸④出荷組合の生産施設整備、武田養蚕農協事業主体

昭和50年度一般会計予算

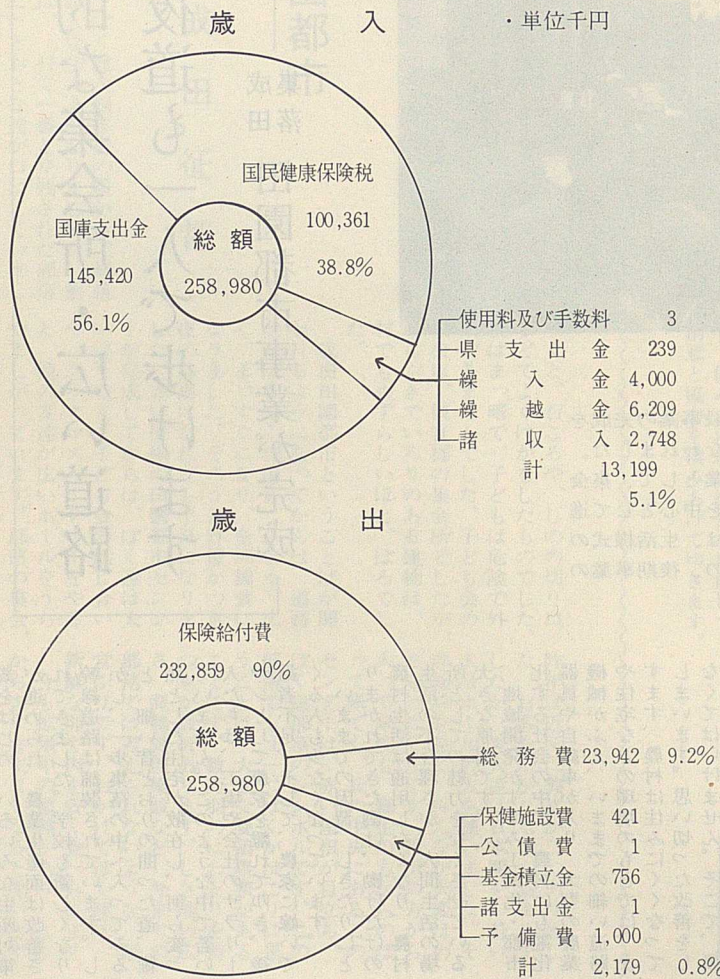
国民健康保険

医療費の支出増大で

2億5,898万円 (前年比+36.4)

さけられない保険税の増徴

助産費は倍額4万円に(7月1日より)



つぎに特別会計国民健康保険事業について説明いたします。この事業は社会保障制度の中核的役割を担い、住民医療、保健向上に大きな使命をはたしております。この制度も物価高騰の影響により、医療費急増時代を迎え、共に老人医療費、高額療養費支給制度に加え、前年二月と十月の二回にわたる大幅な医療費改定により医療費支出増大に拍車をかけていることは否めない事実で、保険税

の増徴は避けられない現状であります。また、任意給付である助産費については、前年度二万円に改善いたしました。また、社会保険との給付水準のバランスを考慮し、国庫の指導にもとづき本年七月一日から四万円に改正し、被保険者助産の多額の費用負担を幾分でも解消することになりました。社会的な不正の是正、弱者救済を旗印とする国の予算編成下で福祉の充

実向上をはかろうとすれば、被保険者の負担増は当然かと思われる。幸い本村としては、当面の財政状況から昨年に引き続き郡内でも低い負担で運営ができて見通しがつき、前年当初比三十六・四増の歳入歳出それぞれ二億五千八百九十八万円を計上いたしました。以上、昭和五十年一般会計並びに国民健康保険特別会計予算の概要を申し上げます。

このたび、当村担当の行政相談委員として、額賀忠衛氏が行政相談に就任いたしました。行政相談については、いままで額賀林之助氏が担当していただいていたが、この四月一日をもって交替になりました。行政相談委員は、国の行政全般について、皆さんが抱える苦情や要望、意見などを聞いて、その改善を図ることを任務としております。

行政相談員に
額賀忠衛氏就任

○どうしてよいかわからない。
○こうしてほしい。
○この苦情や相談、また意見など、役所についてのことならどんなことでも、お気軽にお申し出てください。
○取扱いは無料です。しつこいようにより、自分の名前を秘密にされた方は、ご希望にそったよう取扱っています。

○納得でない。
○不親切な扱い。
○役所の仕事について。
○電話は、二四時間です。
○三和にお住まいで、電話は、二四時間です。
○不親切な扱い。
○役所の仕事について。
○電話は、二四時間です。

暮らしのヒント

シリーズI

洗剤液は3回使える!

繰り返し洗いは、ベテラン主婦の常識。洗剤を、ちびちびつぎたしても、増量のわりには効果がありません。1回分なら洗剤は少なめに、2~3回分なら1回分の洗剤で。ポリエステルや白は先、色もの、汚れものはあとにして、3回まで使えます。

すすぎ効果は最初の3分

洗たく機のすすぎは、ためすすぎなら3分を2回、流しっぱなしなら3分~5分。水が澄んだら終わりのサイン。これ以上すすいでも、あまり効果はなく、泡が残っていても布地はいためません。洗たく用水は家庭で一番多く使われ、全使用量の4分の1すすぎのムダをなくしましょう。

よる自治金融拡大により、設備、運営資金の融通等商工振興のための経費で百四十一万四千円を計上いたしました。土木費は総需要抑制の主たる対象でインフレ対策の根幹でもあることから、昨年に続いて起債が皆無で最もきびしいために道路改良を主体とせざるを得ません。したがって、将来学校通学路として欠かせない三和小学校道、基幹道路としての堂谷中根道一千m、補助事業打ちりに伴う次木金屑道五百mとしての直営工事等二千五百

m及び原口道千五百mの請負工事並びに基地周辺整備事業としての北原線舗装六百m、橋りょうとしての荷下橋、手賀橋の架換え工事と次期改良に備えての手賀道の用地買収等が事業費であります。その他車輦整備費用と基幹道路保全協力費、教職員住宅の維持管理経費等で、前年当初比十三・三増の一億一千十萬五千円を計上いたしました。消防費については施設整備事業として貯水槽の建設六基と火の見塗装五基であります。

非常備消防費としての団員の服装整備については、未支給団員に対しては消防作業服の完全支給を行なうと共に役員が本年度改選になりますので、改選役員については消防学校入校により指導者としての教養を身につけていただきます。また、本年度は消防操法大会が麻生町で行なわれ、併せて村操法競技会の開催により、消火の迅速化を図るに身につけていただくと共に優秀チームに対しては表彰を行います。これら経費で前年当初比十一・八増の一千三十九万二千円を計上いたしました。

教育費は国の教育重点施策から義務教育施設整備については起債等あまり制約はないものと思われ、原資に乏しい本年度の各市町村では受入れ体制がでないのが現状であるうかと存じます。教育委員会は教育行政運営のための経費であります。義務教育費は、優良健康児の表彰、児童生徒疾病予防のための各種検査と要保護、要保護児童に対する援助費用であります。建設事業については、要小学校防音改築事業第二期工事と津澄小学校校便所補修、職員室サッシ等工事です。小中学校管理運営費用については、需要費の高騰等もあって二十増程度に見込みました。

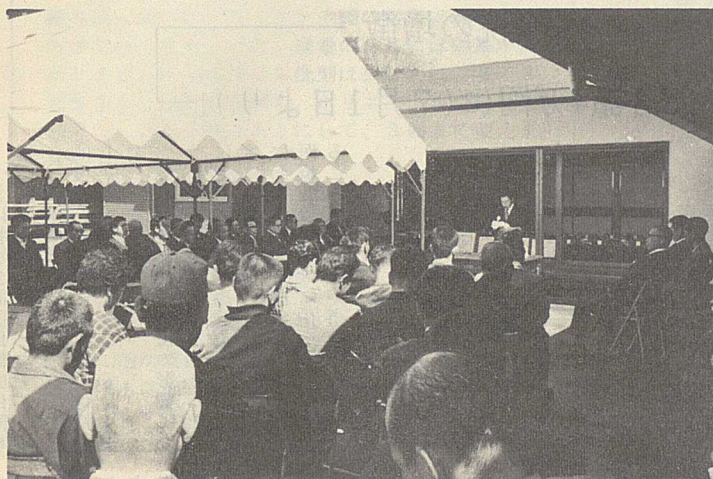
幼稚園については、村一園で三育幼稚園あとに北浦幼稚園を開園いたします。通園には関東鉄道と契約いたし、バスを回送し登下校をはかります。運営については、園長、教頭は兼務職で、専任教諭五名で四クラスを担当させ、よい共同生活を身につけさせたいと存じます。当初でありますので、園具等備品整備に多額の経費を要します。特に入園料、保育料等は、果村補助等相殺いたします。父兄負担は教材費を除きほとんど負担の必要がないことになりました。教育の重要性から父兄の幼児教育に対する理解はもちろんでありますが、こうした施策が本年度入園児百二十二人の申込みとなり身障者を除き就園率百%の現れと存じます。社会教育については、本年度も前年踏襲の事業としての青年団、婦人会の育成、婦人を対象とした生活マナーを身につけるための生活、茶道、料理教室、家庭教育、婦人学級の開催と、老人に教養を享受しよりよい生活をしていただくための高齢者教室の開催もいたします。その他芸術祭、環境美化のためのフラワロードも実施いたします。保健体育のための経費としては、本年度郡民体育大会が本村で開催されますので、これに対する準備費と、青壮年体力向上を目途としたママさんバレー、お父さんソフトボール大会の開催、野外研修としてのキャンプ、スキー教室の開催に加え、小学児童高学年を対象とした剣道教室も開設いたします。また、学校給食については六年目を迎える児童、生徒に対する体位向上に及ぼした効果は大きなものがあります。物資の高騰等の関係から給食費の増額負担をお願いすることに給食センター運営委員会決定し、この四月より月額三百円アップすることになりました。したがって、当初予算に措置しておりましたので今後の補正でお願いいたします。これら教育費は前年当初比二十九・一増の二億二千七百円を計上いたしました。災害復旧費は災害時の道路復旧のための経費で、昨年同様百万円を計上いたしました。

公債費は財政力の乏しい本村としては、当然地方債の活用はかかすことができませんので、年々増加するのは当然の現象であります。本年度の公債費は総予算に對し五・一増で前年当初比八・四増の四千五百九十八万三千円であり、予備費については予算に不足を生じた場合使用できるよう最少経費として前年同様二百万円を計上いたしました。以上一般会計予算は九億七百七十万円であります。

住みにくい農村を改善しよう

近代的な集会所・広い道路 夜道も一人で歩けます

成田 田園都市事業が完成



4月9日、田園都市建設事業の完成を祝って、総合竣工式が行なわれました。この三年間は、前期事業として、集会所・道路などの建設事業を中心として進められました。これからは、生活様式の改善と思想の普及のための、後期事業の推進を図ってゆきます。

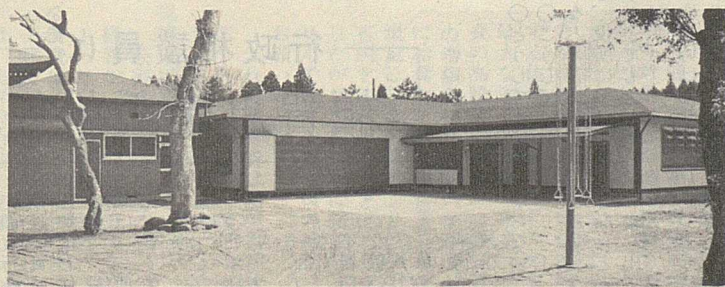
いま農村では、農業構造改善事業をはじめ、いろいろな生産対策が進められ、農業生産面は改善されてきました。学校も新しくなり幹線道路は舗装されています。しかし、一歩集落の中へ入ってみると、細い昔どりの曲った道、雑然とした住宅が散在し、何ら変っていません。このような中で若い人たちは、工場や会社のサラリーマンとして農家を離れてゆき、後継者不足、そして、農家に嫁いでくる人も少なくなっています。

いままでの因習、しきたりにとまりまかれてきた働き、働きだけの農村生活は通用しなくなり、農村生活の不合理さが、人間生活の場所としての魅力をなくさせている大きな原因です。

地域開発がすすみ工業化・都市化する社会の中で、農村にも電化器具や自動車が入り、大型の農業機械がふえ、いままでの細い道路や住宅などの環境のもとでは、ますます、農村は住みにくくなってしまう。思い切った改善をしなければいけません。そこで、農村生活の改善にあわせて、農家の家屋敷をはじめ、集落全体の構造を改めようとして進めているのが田園都市の建設です。

この事業は、純農村を対象として地域として県の指定を受けました。北浦村では、昭和四十四年にその指定を受け、成田集落がモデル集落として選定されました。具体的な事業は、昭和四十七年から昭和四十九年の三年間を通じ、集落内の環境整備を中心に、県・村・モデル集落が一体として進めてきました。

まず第一年に、老朽化した集



ここで行なわれる集会所は、いろいろな集会所が行なわれます。左の建物は物置です。

会所をとりこわして、田園都市センターを建設しました。道路は、浦前線を拡充改良、観音線を拡充改良舗装しました。木の枝がささりしのが生い茂っている集落内のこま払いを行いました。第二年には、共同鶏舎を造って、生活と生産のための場の分離を図りま

作文紹介

これは、茨城県田園都市協会が小中学生を対象に行なった作文コンクールに、小学生の部で一席になった成田征都君の作文です。
また、中学生の部で、二席に桂木陽子さん、三席に武田恵美子さんが入賞しています。

ぼく達の田園都市

新城小六年

成田 征都

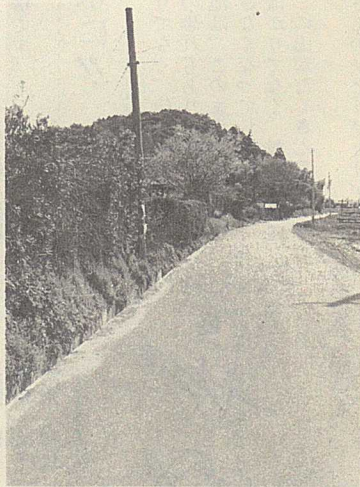
ぼく達は都内ではただ一つの村北浦に住んでいます。その村の中でも一番小さな成田部は戸数四十八で北浦の湖に近い田んぼに囲まれた静かな丘にあります。

ぼく達が四年生の頃から、部落は大変住みよくなりましたが、前は、村で一番と残された部落だ。道路の両側はしりのしり、雨の日は、ぬかってころんで手を

つくと、石ころや、しのの切り口などよくけがをしたものでした。夜はまっ暗で、子どもは危険で外出できませんでした。子ども会の集会は、観音様の集会所でしたが、わらわきでいろいろある建物は、村でもめずらしいほど、ぼろでした。

成田田園都市ということが聞かれるようになってからは、道路からぼさぼさ消え、ふと、広く、まっすぐになり、全部舗装になりました。そのうえ外灯がつき、夜の外出はだれでも平気になりました。赤い屋根の田園都市センターが完成してからは、ぼく達はたいへんです。子ども会の話し合いや、クリスマスパーティーをやる、他の友達が広いホールをうらやましがっています。部落の集会所、老人会、グループの会合などと、多くの利用者がいます。

昨年は近所に葬式が二つありました。お客さんがたくさん集まりました。お客さんは日本間を、若い人はホールの方を使いました。その施設を見て、みんなが大変ほめて帰ったそうです。鉾田の方から入って来ても、麻生の方から入って来ても、丘の中央にあるこのセンターは、赤い屋根が目立ち、ぼく達部落のシンボルです。この部落でも一つぼくがほこりに思うことは、大きな養鶏農家があることです。数万羽のにわとりを持つ家が数軒あります。しき地の広さ、廃鶏処理施設など、今までの部落では考えられないような、経営ぶりです。おかげでぼく達は、新鮮な卵や肉を安く食べられます。今も拡張中の道路があり、これからますますよくなると思います。が、さらに立派な部落にするために、次の二つの事をお願いします。



集落の縦横を広い道路が走っています

一つは、村全体の問題ですが、部落のはずれにある、村指定のごみ捨て場のことです。今は、ごみをやたらに投げ捨てているだけなので、いやなにおいとハエがものすごく発生しています。もっと科学的な処理はできないものでしょうか。もう一つは、部落の人々みんなで心がけなければならぬ問題です。が、犬の放し飼いが多すぎます。この間は道路のわきに、車にひかれた犬の死体が長雨にうたれていました。またある時は犬が、あまりにはえるので自転車の老人がひき返す姿も見えました。もっと、大きな事故につながるかもしれない犬の放し飼いは、やめた方がよいと思います。

これからの田園都市成田は、ぼく達の手で守り、ますます住みよい所に育てていきたいと思っています。

良質の米をつくろう

黄萎病の根源であるツマゲロヨコバイ・ヒメトビウカの絶滅を目的として、ヘリコプターによる空中散布を実施しました。



―穂がでたら
斑点米防除を―

こ数年、着色米の混入で等級格下げ、規格外が急増しています。カメムシによる斑点米を追放しましょう。

①休耕田やあぜを、きれいにし

穂がでてから、五〜十五日の間、一〜二回散布しましょう。あぜや休耕田の草むらへも散布しましょう。

ておきましょう。

②薬剤は
バイジツト粉剤
スミチオン粉剤
十アール・三 kg
十アール・二百五十倍
十アール・百五十倍

小作料の標準額を改訂

田	1	13,700円
	2	12,700円
	3	11,700円
	4	10,700円
畑	1	5,000円
	2	4,500円
	3	4,000円

この小作料の標準額は田にあつては水稻、畑にあつてはビール麦+甘藷及び落花生を作付した場合です。個定資産の標価の基準(土地の条件)により田は4区分、畑は3区分に分けました。

自主納税で

豊かな住みよい村に

みなさんに納めていただく税金は、道路を建設したり、農漁村の生活改善、学校教育の充実：など生活を取りまくあらゆる面において有益に使用されています。

その中で、県税については、北浦は、自主納税のモデル地区に指定されていますので、指定納期限までに、収納機関に納めてくださ

古い保険料を

納め忘れた方に!!

国民年金では、年令によつて、保険料を納める最底期間が定められています。この期間の保険料を一ヶ月でも納め忘れがあると、将来年金を受ける資格を失います。現在、二年以上経過し、時効で納められなくなった古い保険料を特別にさかのぼって納められるこ

昔のきれいな水に!!

中根にある志苔池は、農業の灌がい用水として、たいへん重要な役目をしていました。しかし、最近、豚の死骸が浮いていたり、ゴミが捨てられており、水の色はどす黒く変色しています。小さな魚も浮いていました。五月の田植期を向かへ、この水を利用しなければならぬ人たちは、たいへんこまっています。そ

人事異動

(一)は旧職
四月一日付

退 職

菅谷よし江 (教育委員会)

宮内 恵子 (住民課)

原 ひろ子 (総務課)

異 動

三和小 小沢 勝雄 (建設課)

住民課 齋藤スミ子 (保健衛生課)

税務課 県 博久 (保健衛生課)

産業課 真家きみ江 (給食センター)

総務課 埜 恵子 (産業課)

教育委員会 高橋千枝子 (三和小)

北浦幼稚園

園長 根本 正相

教頭 辺田 光雄

教諭 郡司 典子

河野 徳子

横田 文子

清水 和代

土子きみ江

犬の放し飼いをやめよう

